



さかいっこ かけはし通信

No.6 2025. 10 堺市幼児教育センター



8月26日、28日、9月4日に第3回幼保小合同研修を開催しました。「堺市の幼保小の架け橋プログラムについて」の説明の後、1年生の国語科の授業づくりについて、就学前施設と小学校の先生方が話し合いました。

幼児期の遊びや経験と国語の授業のつながりを考えよう！



教科書の絵を参考にして、動物になったつもりで、お話をつくるよ。そして考えたお話を、文章に書くよ。

第1学年 国語科 教材名「どんな おはなしが できるかな」

学習時期 11月下旬 学習時数：6時間

指導目標 ◎互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。

◎文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる等

幼児期の経験や 学びを出し合う

先生が決めるのではなく、こどもの自由な発想や考えを引き出し、受け止めることや、〇〇のつもりになって遊びながらイメージを広げること等を大切にしています。

- ・ いろいろなお話を見たり聞いたりして、物語の世界にひたる。
- ・ 遊びの中で自分たちでお話を考えたり、つくったりする。(絵本・紙芝居・ペープサート・人形劇など)
- ・ 劇遊びでは、いろいろな登場人物になりきって遊ぶ中で、登場人物の気持ちを考えたり、表現の仕方を考えたりしながら、友達とのやりとりを楽しみ、お話をつくっていく。
- ・ 自分の思いを出しにくい子については、イメージが広がるように個別に声を掛けたり、考えたことを受け止め、自信をもてるようにしたりする。



遊びの中で想像力を豊かにし、いろいろな方法で表現する力や、友達の考えを受け入れる心等を育てています。

幼児期の経験や 学びを活かした 授業づくり



具体的な内容は「幼児教育
堺スタンダードカリキュラム」に載っているよ！



絵本ってたのしいね



劇遊び

- ・ 動物になりきって、どんな会話が生まれるかをやってみる。
- ・ お面やペープサートなどの道具を作ってみる。
- ・ 自分で作ったお話をもとにグループで台本を作り、劇遊び発表をする。



イメージを膨らませ、楽しくお話をつくるのが、その後の書く活動につながるね。



このように一つの単元に絞って、幼児期の経験をもとに、幼保小の先生方がともに考えることで、幼保小の接続を踏まえた学習内容を考えられるといいですね。